

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



泌尿器科

じょうらく あきら
部長 常楽 晃

※写真左から2番目

泌尿器科では主に腎、副腎、腎盂・尿管・膀胱、前立腺、精巣に関連した疾患の治療を行うことから、腎機能、排尿

機能、性機能、および生殖機能といった機能と治療が密接に関わります。手術、放射線治療、薬物治療などから一人一人の患者さんの生活に合った治療方法をご説明するように努めています。さらに、本年からは遺伝子診断を用いた治療方法のご提案ができるようになりました。私たちは遺伝子診療部と協力して前立腺がんをはじめとした日進月歩であるがんの個別化治療にも取り組んでいます。

内視鏡手術を中心とした低侵襲手術を多く行っています。さらにロボット支援腹腔鏡手術では微細操作に優れる点が特長であり、前立腺全摘術後の尿失禁低減や性機能温存、また腎部分切除術による腎機能温存のようにがん治療と機能温存の両立を図っています。膀胱全摘術も従来の開腹手術に比べて患者さんへの負担が圧倒的に軽減されるため、術後の早い回復が見込めるようになりました。退院後も安心して排尿・ストーマ管理が行えるように継続して専門看護師の外来支援を受けられるのも特長です。

健全な生活を脅かすのはがんに限ったことではありません。例えば前立腺肥大症による尿閉や尿管結石^{せんつう}痛発作は、連携のご施設を救急受診することもある疾患です。私たちは前立腺核出術や内視鏡下結石^{はさいしゅつ}破砕術などの根治的治療にも取り組んでいます。女性特有の頻尿や切迫性尿失禁にはコンチネンス外来での専門診療を行っています。排尿症状には、膀胱・尿道機能のほか、糖尿病、脳梗塞などの関連する内科的疾患、生活スタイルなど確認して総合的に診療を行っています。

泌尿器科診療を専門とする医療機関は多くありません。この地域で継続的に患者さんのニーズに円滑に応えられる医療環境を構築するためには、地域連携のご施設との相互の診療協力がとても重要であると私たちは認識しています。末筆ながらこの場をお借りして日頃のご協力に感謝を申し上げます。また患者さんにおかれましては何なりとご相談くださいませ。